

ライフサポート：はた

「学習会やイベント等」のご報告
(皆さんの、ご参加をお待ちしています！)

N078 : 2025. 9. 22

四万十市中村大橋通7丁目1-24

連合高知西地協 TEL:34-9191

発行責任者：事務局 伊達幸雄

色々な組織やクラブに参加している方も多いと思いますが、何か面白い話やイベントなどがあればお知らせください。皆さんからの連絡をお待ちしています。

各行事報告

7月2日(水) 7月期学習会 << 24名参加 >>

「市政報告」

講師：四万十市議会議員 廣瀬正明 さん



2023年6月期以来(2年ぶり)の学習会で市政報告会を行っていただきました。

これまで同様、議会での一般質問の内容、地域からの相談(なんでも相談)についての話しをしていただきました。

◆交通安全対策、防災対策について

●2024年12月議会での一般質問(ひろせ正明通信 2025年新春号 No.27)

【質問】 地震火災の大多数が電気火災であり、発生を防ぐには電気を止め停電状態にする方法がある。災害後すぐに火災の消火・要救助者の救出・市内全域の状況把握・そして、消防の体制を整えてから一部地域ごとに配電を再開することがベストではないか？

【答弁】 電気を必要としている方もおり、すぐに答えは出ない。地震火災を予防するために住宅耐震化や火災予防方法の啓発など総合的な取り組みを全力で行っていく。

電気火災をどう防げばいいのでしょうか

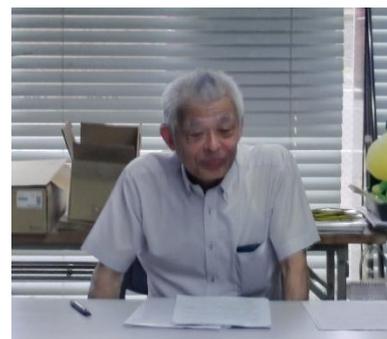
巨大地震のとき起こる火災の半分以上は電気が原因の火災です。地震の揺れがおさまったらずちに電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めて非常持ち出し袋を背負って、家族と一緒に避難できれば火災は防げると言いますが、そこまで冷静な行動がとれる人は少ないと思います。電気火災を防ぐために市内の電気をすべて止めるなど行政には決断も必要です。

上記の内容について、学習会参加者との議論があり、一律に電気をストップすることは難しい場所等もあるのではないか、との意見がありました。このことについては、行政、企業、市民との協議が必要ではないかと感じました。

9月3日（水） 9月期学習会 << 23名参加 >>

「食支援ネットについて」

講師：NPO法人 こうち食支援ネット
理事長 折田晃一 さん



昨年5月期学習会に県労福協の川口さん、武市さんに食支援ネットについてのお話しをしていただき、今回は理事長の折田さんに、これまでの取り組みと課題等についてお話しをしていただきました。

なお、講演前にライフサポートセンターから寄付金の贈呈をいたしました。

2021年に立ち上げ、4年目に入った“こうち食支援ネット”の取り組みとしては、

- (1) フードバンクの活用 → 「食材を集める」「食材を活用する」
- (2) 食支援の輪を広げる「交流・連帯活動」 → 交流イベント（食材の提供側の企業・団体、提供を受ける側の子ども食堂や各支援組織のメンバー、社協・行政の方々の参加）の開催など

そして、活動をする中で見えてきた課題は、

- (1) 「交流イベント」での“困りごと”を整理すると、
 - ※困っている方がすぐ側にいるのに対応が出来ていないのではないか？
 - ※提供者側は各支援団体が、何が欲しいかわからないところがある
 - ※食支援の活動が全体的に知れ渡っていない
 - ※高知市内中心での取り組みになっていて、群部への支援が届かない など、
- (2) こうち支援ネットが取り組むべき課題は、
 - ①賛助会員を中心とした会員拡大と食材提供者数の増
 - ②食材の大量提供への対応可能な「大規模食材保管場所」⇒【ロジ拠点の確保】
また、「地域における食支援の拠点」⇒【ハブ拠点作り】
そして、「ロジ・ハブ拠点を繋ぐ⇒【運搬体制の構築】

労働者福祉運動への期待としては、

フードバンクとは何者か？ → 現時点での答えとしては、

【フードバンクにできることは、『フードバンクがやっていることは本来、国の仕事ですよ』と食料支援を通じて地域社会や行政に向けて発信すること】や【食の力を社会の地域のニーズと合わせて評価し、工夫を凝らして活動を展開していくことで、フードバンクの活動領域が無限に拡大する可能性がある】

労働者福祉運動には、様々な非営利セクターの取り組み（福祉団体・子ども食堂など）と連携しながら、生活困窮者支援制度の充実など、行政への働きかけを行っていただきたい。

幡多地区労福協・幡多地区ライフサポートセンター 合同総会

<7月19日(土) 15:00~17:00>

総会に先立ち、ライフ学習会として、大方クリニック院長 石川洋一先生に専門分野の「脂肪肝について」の講演をしていただき、その後、合同総会を四万十市社会福祉センターで行いました。

来賓では、高知県労働福祉協議会 石川副会長、井上事務局長をはじめ、廣瀬四万十市議会議員からご挨拶をいただきました。



参加者は58名で、1年間の活動報告と今後の活動方針を提案し承認されました。

これからの活動内容としまして、これまでどおり現役労働者、退職者連合、各事業団体等と協力、協同により、学習会やスポーツ・レク

レーションなど、文化、労働者福祉活動を取り組んでいきます。

また、今年度から女性部会を立ち上げ、活動の幅を広げていきます



【今後の学習会】予定

◆11月5日(水)10:00~ : こくみん共済 coop 高知推進部 西村 肇 さん

◆12月3日(水)15:00~ : 高退連副会長 山中千枝子 さん

演題「ジェンダーとは何？」

(高退連幡多地協 総会 場所:四万十市社会福祉センター)

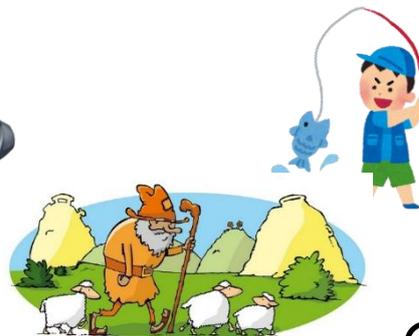
【今後のイベント】

<LSC チャリティーゴルフ大会>

日 時 : 10月27日(月) 9時スタート

場 所 : 土佐ユートピア CC

参加費 : 1,000円



<セラピーウォーク>

日 時 : 11月1日(土) 8時出発予定

場 所 : 天狗高原

参加費 : 2,000円 *別紙案内あり

<釣り大会>

日 時 : 11月15日(土)

場 所 : 宿毛湾 新港 8時30分集合

参加費 : 500円 *別紙案内あり